

条治を超えろ！！

冬季オリンピックメダリストの加藤条治先輩を育てた恩師である椿央先生は「夢を追いつづける」と「最後の最後まであきらめない」という思いを持って指導されていました。心技体の中心に知育があり、なぜ自分がスケートの指導をするのか？どう育てたいか？を選手に伝えていました。1、自立できる人間、考え行動できる人間の育成 2、強い選手の育成（スポーツで夢を与える） 3、スケート競技人口の拡大 です。それに答えてもらうために、生徒には1、自分力の向上 2、基礎的生活習慣 3、目標設定を求めています。スケート部は年々進化し、指導者と選手のキャッチボールがしっかりできているので連続で日本一が獲れるのだと思います。（後藤先生、小野先生 5 連覇おめでとう！！！！！！）

スキーで日本一チャンピオン、オリンピック選手を育てられた田村崇先生の 2021 年No.35 翔友から抜粋した言葉を紹介いたします。『**・・・体育科生に常に言っていた言葉。「君たちは選ばれしエリート達だ。プライドを持て。」私は母校の校歌が大好きである。校歌とは何十年も前に卒業した先輩方と在学生在が年齢を飛び越え共感できる唯一の手段である。その校歌に「混沌の世界を望み、君は船出する。」というフレーズがある。体育科の後輩諸君、君たちを待ち受けている世の中はこれまでに経験したことのない壁をいくつも乗り越えていかなければならない。そんな時ここで培った「プライド」を礎に強く、たくましく生きてもらいたいと切に願う・・・**』体育科生のプライドとは一言でいうと「条治を超えろ！！」です。私たち指導者は中央高校生の皆さん一人一人が無限の可能性の塊であり、計り知れない力を秘めていることを知っています。私たち指導者は、皆さんに気づかせるために、繰り返しレベルの高い課題に挑戦させ、多くの失敗を経験させます。本気のキャッチボールはここから始まります。

